

令和6年度県PTA連合会「県P五つの実践」取組状況調査における具体事例のまとめ

I 「家庭で温かい会話を増やそう！」について参考となる事例

【PTAの取組】

- ・ 学校キャンプを実施し、親子で一緒にカレー作りなどに取り組み、調理後は皆で一緒に輪になって食事をした。
- ・ 家庭教育学級にて、子供とのコミュニケーションについて講演会を予定している。
- ・ 各学級で取り組むテーマを設定し、親子で運動する時間を確保するなど取り組んでいる。
- ・ 学校・家庭・本人で月1回トライアングルほめ日記に取り組んでいる。
- ・ 学校保健委員会の取組の一環で、「親子でエクササイズ」に取り組んでいる。
- ・ 家庭教育学級における子育てサロンの実施
- ・ 家庭の日標語募集に作品提出
- ・ 家庭教育学級の一環として、歩こう会・親子クッキングをすることで、親子で活動する時間を設けている。
- ・ 学校保健委員会の取組として「家族会議（睡眠について）」を実施。
- ・ PTA 保体部を中心にスマートフォン、タブレットなど就寝時刻1時間前の電源OFFなど、学年ごとにテーマを決め、子供と一緒に親も守っていけるよう声掛け及び学級PTAで振り返りを行っている。
- ・ 家読の日（毎月23日）を活用して、読書を通じて会話を増やすことに努めている。
- ・ PTA 三行詩の実践
- ・ 校内夏祭りを通して、会員相互のコミュニケーションを深めたり、親子で参加し、楽しむことができた。
- ・ 家庭で一人一役の役割を決め、みんなで励ましあいながら家事をしよう。
- ・ 家庭教育学級で子供との会話についての講話を行った。
- ・ 親子読書の日を毎月実施
- ・ 各種通信等で話題となる学校の取組等を紹介し、家庭での会話を呼びかけている。
- ・ PTA 新聞に特集記事を組む
- ・ 全体PTAで、規則正しい生活とメディア利用の仕方を振り返ると同時に、家庭内での会話を大切にしていくことを呼び掛けた。
- ・ 絵本ライブを親子で鑑賞
- ・ 情報端末9時預かり。
- ・ 「親から子へ」（1、3年生全員）「子から親へ」（2、3年生保護者全員）のメッセージをまとめた「絆」の発刊
- ・ メディアとの付き合い方についてPTA懇談会で話し合った。
- ・ 毎月23日はアウトメディアの日として家族団らんの時間を設定することを学級PTA等で共通理解して取り組んでいる。
- ・ スマートフォンの使用については、PTA総会において、生徒指導部からルールなどについて説明した。
- ・ 保体部を中心に、元気ハツラツの取り組みアンケートを実施。
その中で、各家庭メディアを時間を減らし、親子のコミュニケーションを広げようとしたノーメディアデーの設定
- ・ 毎月23日を「家読の日」とし、親子で読書を行い、感想等を伝えあい、対話をする時間を持つよう呼びかけた。
- ・ スマートフォン等SNSの使用について、学年・学級PTAの中で呼びかけた。
- ・ 毎月「読書の日」を設定し、ノーメディアの取組を推進
- ・ 子ども会と連携し、親子で活動できる企画を実施している。

【家庭の取組】

- ・ いっしょに朝ご飯を作るなど親子での活動を取り入れている
- ・ 毎月1週間、学習習慣や生活習慣調べ等を各家庭で実践している。学校で音読カード等を作成し保護者に確認をしてもらっている。
- ・ 親子体操を実施した。
- ・ 車での送り迎えの間、普段話さない父親と子供が話す機会として話題を用意している。
- ・ 各家庭で子どもと過ごす時間が生活サイクルの中で確保されているため、親子の会話が日常的に多い地域である。
- ・ 「ただいま」「おはよう」の挨拶の時、手と手を合わせてタッチをする。
- ・ ドライブに行き、車内での会話を楽しむ。
- ・ 家族で予算を決めて休みの計画をたてる。

- ・ 家族で散歩をし、会話をしながら歩く。
- ・ 地域行事にも家族で参加し、家族内はもちろんであるが他家庭との会話も行事を通して深めるようになってきた。
- ・ 「学校での出来事を話し出したなら、しっかり聞くようにしている」「テレビを消して、今日あったことを話す」「みんなで食事と会話をするために一緒に食事をしたり、一緒に過ごす時間を増やす」

【学校の取組】

- ・ 家庭学習について振り返る時間を作るよう周知し、期間後各家庭コメントを書いて提出した。
- ・ 家庭教育学級と児童の学習活動と兼ねたり、学校ブログを頻繁に載せたりして、話題を増やした。
- ・ 学校図書を保護者も借りれるように取り組み、親子で共通の話題を持てるようにしています
- ・ 小中連携部会で共通実践事項を決めて取り組んでいる。
- ・ 学校であったことを保護者に話す機会を作ることや、学校からのお便りを確実に保護者に渡すよう連絡袋を改めて全児童に配布した。
- ・ 学校行事での子どもの姿や家庭学習の取組あど称賛や励ましを呼びかけている
- ・ 日曜参観における、親子ふれあい活動（R6年度ドッジビー）を設定することで、親子で楽しく運動できる環境づくりをしている。
- ・ 阿久根市内で三中学校による中学生会議を実施し、メディア機器の取り扱いについて『保護者とルールを決め、使用する』となり、各家庭でルール作りを行い、実行した。
- ・ テスト期間中にノーメディアデーを実施し、各家庭の実態に応じたメディアとの付き合い方を実施した。
- ・ 毎月23日を親子読書の日として学校をあげて取組を行っている。
- ・ 学校行事や家庭学習等の取組に対する励ましや称賛の呼びかけ
- ・ ノーメディア週間を設け、各家庭でルールを決めて取り組んでいる。
- ・ 日々、自分と友達に“3S”（さすが・すごい・すばらしい）
- ・ 学校だよりで家庭の日の周知をはかっている。
- ・ 中学校単位で家庭学習強調週間として取り組み、その中で、アウトメディア（食事中にメディアを使用しない）を設定して、メディアを使用する時間を減らし、家族とのふれあいの時間を大切にしようとしている。
①あいさつは必ずする。②自分が言われて気持ちの良くない言葉は使わない。※「言霊」を大事にしている。
- ・ あいさつの輪を広げる標語への取組、表彰、広報
- ・ 毎月23日の親子読書の日、ノーメディアデーを実施し、読書活動の中で実施「うちどくカード」を配付し、「毎月23日は親子で読書」を呼び掛けている。
- ・ 地域コミュニティと連携して、親子で参加できる行事を実施することで、自然と会話をする機会を設けることにつながった。
- ・ 地域行事への参加を促した
- ・ メディアから離れて家族で過ごす時間の確保を呼びかけている。
- ・ 食事中は、ノーメディアにする。
- ・ 家庭学習強調週間の取組の中に、家庭との時間を増やす。
- ・ 中学校区（中学校1校、小学校2校）で、中学校の定期考査期間に合わせて家庭学習強調週間を設定し、学習や読書など取り組むようにした。

II 「学校教育の理解に努めよう！」について参考となる事例

【PTAの取組】

- ・ PTA 行事を地域へ呼びかけ協力を得ている
- ・ 月1回程度PTA 役員会を設け、情報交換を行っている。
- ・ 学校保健委員会の取組促進
- ・ 進路講演会の後援（講師の選定）
- ・ 紙媒体だけでなく X (Twitter) や「学びポケット」など SNS も利用している。
- ・ 学校に保護者が出向いて話をするだけでなく、SNS なども使いながら学校・PTA・保護者が負担なくつながれるように工夫している。
- ・ PTA 役員会を年5回実施
- ・ 小規模校である本校では、役員数を減らし、全員がすべての活動に関わっている。
- ・ PTA 主催の親子レクリエーションや学校行事の運動会等において、保護者、地域、学校が連携した活動を進めている。

- ・ 全保護者で分担し、全校児童への絵本の読み聞かせ活動を年6回実施している。また、保護者・地域の方々が協力して奉仕作業や運動会準備に取り組んでいる。
- ・ 学校施設の美化活動や行事の準備などで学校に人手や道具が必要な時は、PTAを中心に協力体制ができています。
- ・ 実際に見ないと先生方の苦労や有難さは理解できないと思っている。感謝している。
- ・ 学校教育に関わる諸課題をもとに、PTA広報部と学校が連携してPTA新聞を作成しながら学校教育の理解を深める一手立てとしている。
- ・ PTA朝の交通指導の取組（学期始め）
- ・ 学級PTAが単に連絡事項の確認にらずに、保護者間の交流の場になるように、学級の役員と担任で確認している。
- ・ 年2回親子奉仕作業を実施し、学校の環境整備に努めている。
- ・ 年2回資源リサイクル活動を実施し、子供たちの教育活動の支援に努めている。
- ・ 学校からの配布物やブログを通じて、行事や進路、保健、図書に関することなどを発信している。
- ・ 教員と保護者間の意見や疑問をPTAが一緒になって検討し、教員と保護者のコミュニケーション不足を補う役割を推進している。
- ・ PTA理事会・役員会を定期的に関き、共通理解・実践に取り組んでいる。
- ・ 学級PTAがある日に全体PTAを開催し、保護者と学校が連携し話し合う場を設定。
- ・ 学校参観日には、必ず全体PTAを開催している。
- ・ 家庭教育学級で、市教委のサポートをいただきながら、児童生徒がタブレットを用いて取り組んでいるAIドリル「キュピナ」について、学んだ。
- ・ Classi等の活用での呼びかけなど
- ・ 中学校区3校のPTA合同理事会において、各校の実践について交流したり、共通実践事項を定めたりしている。
- ・ 「授業参観やPTAへのできる限り出席」「学校だより、通信などをよく読む」

【家庭の取組】

- ・ メディアとの関わりについて期間をもうけて家庭で取り組んでもらっている
- ・ 学校であったことを子供に聞いている。
- ・ 学校のホームページをチェックする。
- ・ お金の使い方について親子で考える「親子マネーセミナー」の実施

【学校の取組】

- ・ 全家庭、必ず学期ごとに一回は、担任と個別相談をする機会を設けている。
- ・ 学校ブログ、ホームページの活用
- ・ 全体PTA、学校運営協議会、地域学校協働活動、家庭教育学級の理解を深める。
- ・ 第2土曜日の3校時をフリー参観として設定。保護者へ参観を呼びかけている。
- ・ 授業参観週間や学校行事等の日程を各種通信だけでなく、集落放送を利用し、保護者への周知徹底を図っている。
- ・ 学校行事やPTAや授業参観日以外に、毎月3・4日を「佐志の日」として保護者や地域の授業公開日・学校参観日と設定し、気軽に学校に足を運んでもらう日にしている。
- ・ 学校生活アンケート（学期1回実施）
- ・ 授業連動型家庭学習の見届け、行事・行事準備の協力・協働。
- ・ 学校評価委員会、コンソーシアム会期、地域協働推進など多角的に取り組んでいる。
- ・ 11月県民週間での参観の呼びかけ、地域の方への学校だよりの配布
- ・ 親子協働活動を数多く学校行事に組み入れている
- ・ 集落（字）の放送等による地域の方への学校行事等の案内
- ・ 地域の方への学校便りの配布
- ・ 学校ホームページ・ブログの周知と定期的更新
- ・ 学校からのお知らせの周知徹底のために一斉メールを活用して、『はい』『いいえ』の確認をしている。
- ・ 学級通信や学校だよりを必ず読もう。
- ・ ブログの更新に努め、学校の様子を伝えている。
- ・ 11月の学校自由参観日の周知、教育相談等の充実、プール掃除や運動会会場準備をPTAと連携して進めている
- ・ 学校運営協議会に参加し、意見交換をしている。
- ・ 毎年、本校で研究公開を行い、PTAもボランティア等で参加している。
- ・ 家庭学習強調週間（中学校定期テスト前の期間、市内小学校とも連携して取り組む）

- ・ 学校見学会と同時開催する福祉機器展示会を、保護者にも公開。PTA 総会でニーズを把握し、保護者にお知らせして、今年の 11 月 1 日に実施。寄宿舎の送迎に合わせることで多くの参加があり、視覚障害教の理解に繋がった。
- ・ Instagram やブログで学校の様子を紹介
- ・ コミュニティスクールを設置し、地域の代表者からのご意見をもらい教育環境の見直しを実践している
- ・ 保護者以外の地域の方に、授業参観や学校行事に参加して頂いている。
- ・ 学校のインスタも活用して、生徒の学校生活の様子や情報を発信している。また、学校安心メールも活用されている。
- ・ 県民週間の日の授業参観
- ・ 行事参観など。
- ・ 学校ホームページ（ブログ）にて、情報発信を積極的に行っている。
- ・ 体育大会、文化祭への保護者の積極的参加

Ⅲ 「地域で子どもたちを見守ろう！」について参考となる事例

【PTA の取組】

- ・ PTA で地引き網を開催し、地域の方にも手伝いをいただいている
- ・ 5・6 年生を対象に、3泊4日校区公民館を利用して宿泊をする「ふるさと学寮」を行っている。地域や保護者の方々の協力のもと、食事やもらい湯、学習会などを実施している。
- ・ 単位あいご会が活動できないため、コミュニティ、学校、PTA、校区あいご会それぞれの活動ではなく、まとまって「ホテルを見る会」や「校区ウォーキング」などを協力して開催している。
- ・ PTA や地域の方による生徒の登下校の見守り活動（あいさつ運動）
- ・ 地域ボランティアとの連携
- ・ 家庭との連携に「学びポケット」を活用し、相互の情報提供ができるようにして、防犯連絡等に活用している。
- ・ 地域にあるいろいろな団体で行事を計画し、学校も計画の段階から関わっている。
- ・ PTA 通学路パトロール 集団下校 危険箇所まっぷ
- ・ 山川港まっぷのパレードに参加し、地域へ創立 50 周年であることや PTA の紹介ができた。
- ・ 毎週金曜日は、保護者によるあいさつ運動、登校指導を行っている。
- ・ 登下校指導、街頭補導の実施、安心メールを利用して安全に関わる注意喚起の発信
- ・ 今年から、お弁当を持参して、地域を含めて運動会を開催した。
- ・ 立志の集い、餅つき大会等
- ・ 災害に備える備蓄品を PTA で購入予定です
- ・ 年に 1 回、PTA と地域と合同で危険箇所の確認や意見交換会を実施し、連携して子どもを見守る体制づくりに取り組んでいる。また、警察（駐在）、民生委員、地域ボランティアの方々が連携して登校時の立証指導に取り組んでいる。
- ・ PTA バザーを放課後ディサービス等の事業所へ参加の声かけをし、利用する子供と参加してもらった。
- ・ 街頭補導の実施、朝の立哨指導
- ・ PTA 保体部を中心に、妙円寺詣り相撲大会に向けて取り組んだ。
- ・ 子どもたちへの声かけ・見守り活動
- ・ 学校行事を実施する際に、地域住民によるサポート・安全確保への協力
- ・ 地域ごとに月 1 回のクリーン作戦を行っている。地域ごとに伝統の踊りがあり、夏季休業中や週休日に練習を行い、運動会で披露できた。
- ・ 地区 PTA：レクリエーション・茶話会・懇親会、地区 PTA：通学バスバス停清掃
- ・ 青少年育成協議会と連携をしたあいさつ運動の実施
- ・ PTA 主催の夏祭りで出店を準備したり抽選会を行ったりしている。子供たちによるステージ発表などもあり地域の方にとっても楽しいひと時となっている。
- ・ PTA 保体部を中心に、補導活動等を行っている。

【学校の取組】

- ・ 本校は、特色ある教育活動の一環として「ゲートボールに親しもう」という活動を行っている。そこで地域の方々との接点が増え、普段から子どもたちを地域の方々が見守ってくださる環境にある。

【地域の取組】

- ・ 島全体となって、夏祭りの縁日体験を子供にさせるための、「口之島夕涼み会」というイベントを毎年7月に実施している。
- ・ みどりの少年団
- ・ ミシンボランティアに民生委員が協力。民生委員、社会を明るくする運動、日本善行会など、地域の方々が挨拶立哨運動をしている。
- ・ 地域関係者を対象とした学校教育懇談会にて、校区安全マップの見直しを行った。
- ・ 合同運動会、地域のふれあいの会
- ・ 地域と一緒に運動会を行ったり、敬老会を行ったりしている。
- ・ 校区青少年健全育成連絡会の実施（年2回）
- ・ 育成会で毎年ボーリング大会が行われている
- ・ 校区コミュニティスクールの活動で、子ども達の声で録音した見守りに関する放送を、校区内で青パトの協力をいただきながら放送している。
- ・ 学校運営協議会、地域学校協働活動
- ・ 朝の交通指導、あいさつの日の立哨指導
- ・ 地元NPOによる「地元のワクワク」をテーマにした授業を開催。移住者ら保護者が参加して体験授業を行った。11月に2回目を予定。
- ・ 緑の少年団活動や学校林の管理などに地域の方の協力をたくさんいただいています。
- ・ 地域の方々が毎朝登校時に立哨活動
- ・ 豊年祭等の地域行事への推奨。集中する日は午後から下校とした。令和6年度10月21日、徳之島町立亀津中学校運動会や学習発表会は地域と合同で開催したり、町の夏祭りや綱引き大会を地域とPTAが連携して児童が参加したり、地域と学校が一体となり学校づくりを推進している。コミュニティスクールとして学校運送に地域を積極的に生かしている。
- ・ 地域塾の開催、育成会による老人会との交流行事
- ・ 本校は伝統的（21年目）にエイサーに取り組んでいる。各小学校区の夏祭りや地域行事等でエイサーを踊っている。
- ・ 先生方が地域行事に積極的に参加くださり、地域に身近な学校を実践し、地域との意思疎通を図っていただいている
- ・ 「3のつく日のあいさつ運動」として、毎月3のつく日に、校区のコミュニティの方々や民生委員、保護者が参加して立証指導を行っている。子供たちの登校の様子を見守ったり、日頃の様子の情報交換をしたりしている。
- ・ 地域学校協働活動、高千穂小元気塾。
- ・ 民生委員、地域ボランティアによる登下校時の見守り活動
- ・ 子ども食堂
- ・ 地域協働を通し学校、保護者、生徒、地域の連携を深める活動を様々実践している。
- ・ 朝、不定期ではあるが地域コミュニティ協議会会長が立哨指導に加わってくださったり、地域の方が散歩がてら子供たちと一緒に登校してくださったりする。
- ・ 豊年祭への参加（相撲等）
- ・ コメ作りや川祭り、納涼祭の実施
- ・ 車にはる防犯ステッカーを校区の有志の方々に配布し校区内を走行するときは掲示してもらっている
- ・ 地域のパトロール隊が第2土曜日に立哨指導をしてくださっている。
- ・ 校区校外補導。青少年健全育成会への参加。
- ・ 島民の全員が島内の子供の顔と家を知るくらい、子供ひとりひとりが地域に認知され見守られている。
- ・ 地域がえび・かに放流を企画し、その際に児童の交通安全を呼びかけている。
- ・ 毎朝の交通立哨を行ってもらっている
- ・ 6年生地域の高齢者とのグランドゴルフ、4年生妙円寺遠行での地域の方見守り
- ・ 各種団体によるあいさつ運動やパトロール
- ・ 夢講話 学校応援団
- ・ 児童と地域コミュニティ、通学保護員、民生委員、保護司との交流会をしている。
- ・ 校区で夏祭りを行ったり、子供育成会が中心となって鬼火焚きを実施したりしている。
- ・ 学校行事に地域の方々が、積極的に関わっている。
- ・ 各集落の行事に他の集落からも意欲的に参加する姿が見られる。
- ・ 防犯パトロールや110番の家等で子供たちの見守りをしてくださっている方を紹介し、お礼を伝える機会として、「パトロール出発式」を毎年行っている。
- ・ 青パト隊や校区公民館の児童の登下校時の見守りや学校運営協議会との連携
- ・ 市民清掃の日に積極的に参加するよう呼びかけている。
- ・ 呼びかけなくても敬老会等の地域行事への子供の参加が当たり前のこととして根付いている
- ・ 地域活動（上小原スポーツフェスタ、奉仕作業など）に参加

IV 「会員相互のコミュニケーションを深めよう！」について参考となる事例

【PTAの取組】

- ・ 運動会を島全体の行事として実施し、運動会後の懇親会も島民全員参加で実施している。
- ・ 家庭教育学級にて今年度、子育て座談会を開いた。
- ・ 全ての学級が年1回学級レクリエーションを実施
- ・ PTA主催のスポーツ大会を開催予定
- ・ 世界（記録）に挑戦 「紙飛行機飛ばし（親路の会）」 「ハイタッチ（運動会）」
- ・ PTA役員メンバーで懇親会を行うなどしてコミュニケーションをはかる機会を設けた。
- ・ 中学校区（小学校・中学校）におけるPTA会員交流活動（スポーツ活動など）
- ・ 各学級PTA主催での夏休みレクも積極的に企画・開催された。
- ・ 集落の清掃活動、運動会
- ・ 会員全員がグループラインでつながっており、相談や連絡がスムーズにできている。
- ・ PTA学級委員長を中心にサップ体験やバーベキュー等の交流の場を設定した。
- ・ PTA専門部を学年部で組織しているため、コミュニケーションが図りやすい。
- ・ PTAスポーツ大会の実施
- ・ PTA歓送迎会の実施。PTA奉仕作業（年2回）
- ・ 保護者が中心となり各学級で親子レクリエーションを年1回開催している。
- ・ 親睦ソフトバレーボール大会を開催し、多くの参加があった
- ・ 家庭教育学級、学級レク、愛校作業の実施。PTA共有のクラウド上のドライブの設置。
- ・ 手軽なレクリエーション、ふれあい活動、ヨガ教室等
- ・ 高校見学ツアーや家庭教育学級の講座の実施
- ・ 4校区合同レクリエーション大会の実施
- ・ 年1回のPTA主催の「校長杯バレーボール大会」を実施している。
- ・ コロナ禍で実施されていなかった学級PTAを全学年で実施できるようになり、クラスにおける保護者が関わる機会ともなっている。
- ・ 安心メール等による行事等の連絡・確認
- ・ 学級PTAの時間では、必ず「懇談」の場を設定し、保護者同士が語り合う機会をもてるようにしている。
- ・ PTA主催の親子ふれあい活動
- ・ おやじの会、マミーズ、PTA研修会などの参加を通して、横の繋がりができつつある
- ・ 地域のあいご会を通して触れ合うこと。
- ・ 学年PTAごとの親子レクリエーションの取り組み。
- ・ 地域の祭りにて踊り連への参加、相撲行事の参加、親子学級レクリエーションの実施
- ・ 学級PTAのグループワーク
- ・ 親子ふれあいレクや餅つき大会、門松づくり等、親子で参加できる行事を実施し、親子だけではなく、会員同士の親睦も深めている。
- ・ PTA親睦ミニバレーボール大会
- ・ 海や山、台風や噴火など、自然と向き合いながら互いに知恵を出し合って子供にとって安全な生活環境づくりに努めている。地域行事を通じて地域の活性化や子供たちへの文化の伝承に努めている。
- ・ PTAバサーを放課後ディサービス等の事業所にも参加の呼びかけをし、利用する子供と参加してもらった。
- ・ 親子、職員参加のボウリング大会を実施している。
- ・ 同級生の保護者や他学年の保護者で昼食会を設定し、情報を共有したり情報交換などしたりしている。
- ・ 教職員の歓迎会や運動会の懇親会を地域の公民館で開き、地域の方々の参加も呼び掛けている。また、六月灯や学習発表会、県民週間や持久走大会の応援・立哨も地域ぐるみである。
- ・ コロナ禍でも小学校PTA行事は中止することなく継続してきた。
- ・ 諸会議の導入での構成的グループエンカウンターの実施
- ・ 島内夏祭りが開催されて、PTAもブースを設けて、かき氷などを配った。
- ・ グランドゴルフ、ゲートボール大会を通しての、学校・家庭・地域の交流の場の設定
- ・ 串良地域7校PTA懇親会を開催した。
- ・ 父親の会、母親の会を募り、活動を計画している。
- ・ 各学年の担任と連携したレクを実施
- ・ 全学級でのPTA学級レクリエーションの実施
- ・ PTA執行部主催のそうめん流しの実施
- ・ 学校保健委員会で県のスクールカウンセラーの先生を講師に招き、SOSの受け方についての講話を予定している。
- ・ 学級レクリエーションを全学年で実施し、保護者間や親子間の交流の場を設けている。

- ・ 各クラスから3名ずつ選出された役員が、それぞれの専門部（生活部・進学部・厚生研修部）へ所属し、行事の企画・運営に携わっている。
- ・ PTA行事として、おはら祭への参加。また、「セゴドンノエンコ」と題して、PTAの協力ももらいながら、郷土の偉人について学ぶ遠行を行っている。
- ・ 学級レクリエーション 親子ふれあいスポーツ大会 など
- ・ 家庭教育学級への全家庭参加
- ・ 歓迎会や里山フェスの開催
- ・ 夏休みの週末にホラーナイトを実施。集落ごとに親子でブースを作り、おばけハントやコース巡りを楽しむことができた。
- ・ 学級レクリエーションの充実に努め、予算配当を行っている。
- ・ 文化祭や遠行等でのボランティアの協力等
- ・ おやじの会が活発に活動している。
- ・ 歓送迎会、懇親会など、負担のない程度での実施を検討している。
- ・ PTAへの積極的な参加、委員長などを一度は引き受けるようにしている

【学校の取組】

- ・ 各学年で保護者が中心となり「教育を語る会」と題して、生徒、保護者、教職員がレクリエーションなどによって交流図っている。
生徒がこれからの目標を発表する場も設けられている。
- ・ 手話学習会の実施(月1~2回)

V 「生涯学習の実践に努めよう！」について参考となる事例

【PTAの取組】

- ・ 県民大学講座に学校からオンラインで、職員・保護者・島民が参加できる体制をとっている。
- ・ 出来ることをできる範囲で行っています。そのために、見直し等含めて精査しています。
- ・ 会員が参加したくなるような内容の家庭教育学級研修視察を計画している。
- ・ 救急救命法の学習会の実施（PTA）
- ・ 家庭教育学級の開催時期や内容などを前年度の反省やアンケート結果を生かして変更することで、参加者が増えている。
- ・ 家庭教育学級の内容に応じて、全学年への参加呼びかけ。
- ・ PTA会員で分担して研修会へ参加している、PTA会員で進んで地域行事等へ参加している（港祭り、温泉祭り等）
- ・ 地域高齢者大学の活用
- ・ 進路についての研修会や研修視察を行っている
- ・ 情報端末機器の危険性を認識して、よりよい人生を送るための道具としてみんなでつながれたらと考えている。
- ・ 研修会の開催が増えてきている。
- ・ 家庭教育学級の充実に努めている。家庭教育学級で作成した作品を学校の文化祭や町の文化祭に出展した。
- ・ 学校保健委員会と連携し、健康・安全についての研修会を実施している。
- ・ 「メディアと健康」で、ネット環境が及ぼす健康被害についての講話を聞く。
- ・ 家庭の時間を確保できるように、休日の外出、帰宅時間を地域で共通理解する。
- ・ 出された課題を終えてから遊ぶ等、家庭でのルールづくりと実践に努める。
- ・ 児童数減少に伴い、保護者も減少。共働き世帯の増加によりPTA主催の研修会や事業に参加しにくい現状がある。働き方という名の下で先生方の負担軽減も考慮しなければならない現状もある中、保護者は「公休」や「有給」を使って各事業に「子どもの為」参加している。また、参加率80%を目指すと言うことは、一定の強制感が必要であるが、私たちはPTA参加における「強制感」を無くす努力に努めている。
- ・ 強制感を無くし、「参加したい」という気持ちを作るPTAの風土も必要と考える。
- ・ 強い参加率を求めるが故に、保護者は仕事を休む。職場によっては、市内小中のPTA行事が重なる事で、休みを希望する人が増え。職場への影響がでて来ることもある。
- ・ PTA研修部を中心に、保護者のニーズに即した創意工夫された講演会や家庭教育学級の充実が図られている。
- ・ PTA保体部による「健康に関する学習会」講演会実施、PTA研修部による「障害基礎年金について」講演会実施

- ・ PTA 教育講演会を実施した。今年度はパフォーマンスアーティストの K@ITO さんを講師に招き、「夢を伝えて」を演題として親子で講演会を楽しむことができた。
- ・ 卒業生の保護者を招いての進路座談会や、大学見学の研修、市 p 連・県 p 連主催の研修会への参加など、希望者を募り多数の参加がみられた。
- ・ 安心安全ネットワーク会議に生活指導部参加

【家庭の取組】

- ・ 学校卒業後何がしたいのか子供と時々話をしている。

【学校の取組】

- ・ デジタルリテラシー教室（メディアと健康との関係）の実施
- ・ さまざまな社会教育の行事を、まなびポケットで積極的に PTA に向け紹介している。
- ・ 地域にある施設（令和 6 年度は、気象庁の測候所）への親子での見学会を実施し、学びを深めたり、キャリア教育の観点で捉えたりできた。

【地域の取組】

- ・ 地区・市の研修会に分担出席している。
- ・ 地域コミュニティ主催の伝統行事への積極的な参加（門松・しめ縄作りなど）
- ・ 地域コミュニティ主催の六月燈・門松づくりやしめ縄づくり等、伝統行事への積極的な参加

令和 5 年度 県 P T A 連合会「県 P 五つの実践」取組状況調査における具体事例のまとめ

I 「家庭で温かい会話を増やそう！」について参考となる事例

【P T A の取組】

- ・ 毎月、「親子で 20 分間読書運動」を開催している。（平成 11 年から続いている。）会場準備/し、黙読活動、当番の子の「おすすめの本紹介」、会場片付けを一緒にしている。
- ・ 家庭教育学級において、スマホ・ケータイ教室を実施し、家庭でのメディア接触のルールづくりやフィルタリングの大切さについて考える機会を設けた。
- ・ 家庭教育学級にて、子どもへの言葉かけをテーマに講演実施予定
- ・ 家庭教育学級や地域行事に親子で参加を呼び掛けている。
- ・ 親子で「ありがとう」の感謝の言葉を交わすことを共通実践項目としたり、会話が增えるようにお手伝いの取り組みを PTA の研究テーマに設定したりした。
- ・ 学校行事や P T A の時に子どもの姿や家庭学習の取組などに称賛や励ましをするように呼びかけている
- ・ メディアルールについては各学級 P T A で話題にするようにしている
- ・ 毎月 23 日は親子読書の日として「うちどくカード」を配付
- ・ 「ノーメディア日の取組」と「家族で話そう」の取組を同じ日に設定するようにしている。
- ・ メディアルールや親子活動について学級 PTA で話し合っている。
- ・ 各家庭、それぞれですが、何かしら考えながら取り組んでいるように感じます。
- ・ ささいな幸せみつけたの取組（子供が見つけた日常のささいな幸せに保護者がコメントを書く）
- ・ 家庭教育学級で、I メッセージと you メッセージの演習を行い、家庭での会話で I メッセージを増やしていくことを共通理解した。
- ・ メディアコントロール週間を設定し、規則正しい生活とメディア利用の仕方を振り返ると同時に、家庭内での会話を大切にしていくことを呼び掛けた。
- ・ 学校行事や家庭学習等の取組に対する励ましや称賛の呼びかけ、学級通信や学校だよりをきっかけに家庭で温かい会話を増やしてほしい。
- ・ 子どもを褒めることで自己有用感を育成する講義を実施した。家庭教育学級テーマを設定し、家庭学習の時間の充実を話し合った。メディアに関するアンケート及びメディアコントロールの呼びかけをした。
- ・ 子供の会話・心への寄り添い方について、診療所医師をお招きし、家庭教育学級を行った。また、次回は親子ストレッチも予定している。
- ・ 親子対話の場や時間を定着させるために、「家庭学習」「親子読書」「地域行事への参加など推進する呼びかけを行った。
- ・ 家庭教育学級や学級 PTA において親子レクレーションを取り入れた。

- ・ 親子の活動を増やしてメディア時間の減少を図るために、学校保健委員会で「親子で体力アップチャレンジ」に取り組んでいる。
- ・ 市内で三中学校による中学生会議を実施し、メディア機器の取り扱いについて『保護者とルールを決め、使用する』となり、各家庭でルール作りを行い、実行した。また、テスト期間中にノーメディアデーを実施し、各家庭の実態に応じたメディアとの付き合い方を実施した。
- ・ 毎月、学習習慣・生活習慣調べ等を各家庭で実践。学校で音読カードを作成、保護者が確認。
- ・ 親子で参加できる行事を地域コミュニティと協力しながら実施することで、自然と会話をする機会を設けることにつながった。
- ・ 携帯を見る時間を決める
- ・ 地域での出来事や学校の様子・部活動の成果が学校からタイムリー且つこまめに安心安全メールで共有される事によって、子どもとの共通認識できる会話の幅を増やしてもらっている。
- ・ 家庭教育学級の充実(回数を増やし保護者間で気になる議題を毎回テーマに設定し、講師を招聘し学んだり、相談の場を設け、抱え込まず皆で子育てしていける環境作りを図っている)

【家庭内の取組】

- ・ お弁当の日の親子での調理、学校行事への参加・応援
- ・ 笑顔いっぱい家族でハッピー ～ハッピーホルモン大作戦～ (親子でのふれあいを通してハッピーホルモンを出そうという取り組み)
- ・ 学校行事での子どもの姿や家庭学習の取組など称賛や励ましを呼びかけている。
- ・ すきすき大好き週間の中で親子でハグをしている。
- ・ 保護者や里親と地域で会う度に、こどもの国話題を伝え、会話のきっかけとしてもらえるよう、日頃から子供との対話を意識している。
- ・ 夏季休業の一緒に体力づくりとカードに活動を取りまとめた。
- ・ スマートフォン等の使用について各家庭で決めているルールや、悩みなどを共有した。
- ・ 親子で体力づくりの取組
- ・ 海で一緒に泳いだり、サイクリングをしたり、自然体験に取り組む。夏休みの自由研究と一緒に取り組む。夏休みのラジオ体操と一緒に参加する。など
- ・ 学校での出来事を話そう(行事うあ学習、友だちのこと)
- ・ 食事中はテレビを消して会話(コミュニケーション)や食事を楽しむ。
- ・ 家族みんなで一緒に何かを作るなどの共同作業をする。
- ・ 共通の趣味を作る。

【学校の取組】

- ・ 学校だより、図書だより、保健だより等を配付した際に、親子で読むように促している。
- ・ 学校評価(保護者対象)の項目に会話を10分以上しようという内容を入れて取り組んでいる。
- ・ 毎月23日を「うちどくの日」とし、各家庭で親子読書を奨励している。読んだ本は感想をまとめ、毎月校図書館に掲示している。また、スマートフォンなどについて、「メディアコントロール」週間を毎月設け、家庭での団らんを大事にしている。
- ・ 保護者・地域に向け、学校評価や保護者アンケートの結果を分析・報告し、言葉遣いについての意識を高めた。
- ・ タブレット持ち帰りの親子学習
- ・ 新聞への投稿により、掲載された児童生徒の作品を渡し、自己有用感を高める会話や称賛の機会を持った。
- ・ 学級通信や学校ブログで学校の様子を伝えて家庭での話題提供としている。
- ・ 学級通信をタブレット等で配信し、親子で見ることを通してコミュニケーションを図った。また、タブレットを保護者が確認できることで、情報利用についても語るが増えた。
- ・ 鹿児島県図書館協会が推進している「毎月23日は子どもといっしょに読書の日」を受けて、学校の校内読書月間の取組として、親子読書で「家読(うちどく)」の取組を行った

II 「学校教育の理解に努めよう！」について参考となる事例

【PTAの取組】

- ・ 学校行事への積極的なかわり(準備、運営等の手伝い。運動会緑門作り等)
- ・ 授業参観や学校行事等参加率が概ね90%以上ある。学級PTAにおける懇談会の実施。

- ・ 本校は少人数でP戸数も少ないので、組織を三役以外は専門部長だけを決めて、他は全員がすべての活動に関わるようにしている。
- ・ P T A 役員会を定期的に開催し学校行事やP T A活動について話し合うなどして意見交換や情報効果を行なっている
- ・ 地域が育む「鹿児島県の教育県民週間」における学校自由参観
- ・ おやじの会とPTAで、運動会でバルーンアーチやバルーンリリースを実施している。
- ・ 校則改正への関わり
- ・ 家庭教育学級、学校保健委員会
- ・ 全保護者で分担し、全校児童への絵本の読み聞かせ活動を年6回実施している。
- ・ PTA研修視察の実施
- ・ 各専門委員会において学校教育に協力してもらっている。保護者と教職員が連携できるように各学年レクリエーションの取組を行っている。
- ・ PTA新聞を休止した為、PTA活動やボランティア活動を学校ブログで紹介した。
- ・ 「ブログ」「インスタ」で子どもたちの学校生活や行事などの様子を紹介
- ・ 学校規模適正化(再編)に向けてPTA内に各部を設けて、毎月話し合い、閉校に向けた各種取組や開校に向けたPTAの制度づくり等を行った。
- ・ 教育活動の様子が分かるよう、ブログ等の更新をこまめに行っている。また、新聞投稿等も積極的に行っている。

【学校の取組】

- ・ 県民週間、保護者対象の教育相談等の充実
- ・ 学校便りを安心・安全メールで配信している・ブログを更新している
- ・ みふねっ子を語る会を開催し、地域、保護者、職員で語る場を設けている(3年目)
- ・ 11月の学校自由参観日の周知、学校行事への保護者の協力・参加
- ・ 校区行事(夏祭りやバザー)にPTAとして参加に協力することをおして、本校のよさ(学校家庭・地域の協働)を実感できるようにしている。
- ・ 保護者出会の行事などはできるだけ一日にまとめる。日頃から褒め電(子どもたちの良いところを積極的に電話で保護者に伝える。)をする。
- ・ 11月県民週間での参観を呼びかけている。
- ・ 学校自由参観日の設定 ・コロナ明けとして、PTA主催の歓迎会を行った。
- ・ 地域の育成会がコメ作りに協力、地域の農家の方が無償でいちご狩り、など学校教育活動に協力してくださっている。
- ・ 教育相談のみならず、教師各々が、いつでも相談をもちかけるように常に学級だよりなどで呼びかけている。
- ・ 保護者をゲストティーチャーとして迎え授業をしていただく機会を設けている
- ・ 保護者の要望に応じて、臨機応変に教育相談を実施している。
- ・ 学校評議員を対象にアンケートを実施し、意見を集約し、その結果、早急に対応改善が必要な内容に対応した。
- ・ 特色ある事例としては、県民週間での美術・書道作品展や、黎明館で松陽芸術祭がある。
- ・ 田植え・稲刈り、プール掃除、運動会会場準備、収穫祭等の学校行事に保護者の協力を求め、職員と接する機会を増やしている。
- ・ 小学校のPTAと合同で体育大会前に奉仕作業を行なっている
- ・ 特色ある教育活動「ウミガメの観察」の際に、採卵から子ガメの放流まで一緒に活動してもらっている。
- ・ 安心メールを活用して行事予定を早めにお知らせしたり、教育活動の評価をしてもらったりしている。
- ・ いじめ防止基本方針や生活のきまりについて説明し、見直しを行った。
- ・ 地域の方への学校便りの配布、集落の放送等による地域の方への学校行事等の案内
- ・ 学校ホームページ、ブログの周知と定期的更新
- ・ PTA交通指導の取組(学期始め)、お金の使い方について親子で考える「親子マネーセミナー」の実施
- ・ 学校評価(保護者・児童アンケートを実施)に、「親子で学校や学習についての話をしているか」という項目を新たに設け、意識向上 図っている。(フオーム入力を活用)

Ⅲ 「地域で子どもたちを見守ろう！」について参考となる事例

【PTAの取組】

- ・ 中合同PTA危険箇所点検
- ・ や保護者の方々の協力のもと、食事やもらい湯、学習会などを実施することができた。

- ・ 有志の方々の協力の下、地域の歴史・文化財に関する学習を実施。
- ・ の登下校指導
- ・ 休業中、各地域 PTA が夜間見守り活動を行った。夏祭りなど PTA 執行部で見守り活動を行った。
- ・ 講師による親子ミニ門松作り
- ・ あいさつの日、登下校見守りの分担
- ・ PTA 生活指導部による月に 1 回の地域パトロール
- ・ 校区公民館活動へ参加を呼びかけている「昔の遊び体験」「夏休みちびっ子レクリエーション」「曾於市ふるさとめぐり」声掛け運動 立哨指導 巡回パトロール 読み聞かせ
- ・ 学期始めに校区内数カ所で朝のあいさつ運動を行なっている 地域の夏祭りで PTA 生活指導部を中心に補導と見廻りを行なっている 学校運営協議会のメンバーに学習サポートを依頼している。
- ・ 安心安全メールにて、子どもたちの身の安全を意識している。
- ・ コロナで縮小縮小でありましたが、やっと以前のような行事事ができるようになってきても、何もなかったのが当たり前になってしまっていると勘違いされてる先生方、働き方改革と自分を!を出してくる先生方が大半いるというのがとても残念、とても違和感を感じます
- ・ PTA と子ども会が連携して、体験的な活動を重視した行事を行っている。(ダンス教室、地域の伝統芸能継承等)。
- ・ 校外補導(生活委員会)
- ・ 年に 1 回、PTA と地域と合同で意見交換会を実施し、連携して子供を見守る体制づくりに取り組んでいる。
- ・ 6 月に小・中学校 PTA 親子バレーボール大会を実施した。毎月、民生員や地域の方による登校時間帯の見守り活動を行っている。
- ・ 長期休業中に校外街頭補導に地域の方々に協力をいただき、児童の様子を見守りをしていただいている。
- ・ PTA 生活安全部や校区青少年健全育成連絡会等の関係機関と連携を図りながら、定期定期に地域内での巡回指導を行っている。
- ・ 市電・市バスの同乗指導を行い、乗車マナー改善に努めています。
- ・ 自転車通学生のヘルメット着用を呼びかけるとともに、学校での義務化へ向けて働きかけた。また、PTA だよりにおいて通学路の危険箇所を地図や写真入りで掲載し、安全な登校になるよう呼びかけた。
- ・ 小学校と中学校が協力して長期休業のときに夜間パトロールを行なっている。
- ・ 地域の商工会祭りに「参加」するだけでなく「運営の補助、お手伝い」として関わりの場を設けていただいた(今後、地域を知り働く上で職業体験の導入として小学生の段階から実践していく事が狙い)
- ・ 自治会の清掃に合わせて、PTA で参加するように呼びかけた。(クリーン作戦)
- ・ コロナ禍で開催がなかったバザーを別の形で開催した。かもなか祭として開催しました。

【学校の取組】

- ・ 長期休業前、学校便りの記事に、地域全体で児童生徒の安全を見守ってもらうよう依頼した。
- ・ 不審者対応訓練に地域のスクールガードの紹介を入れたり、地域の住民に子ども 110 番の家の役をしてもらったりした。
- ・ 追い込み漁や田植えや運動会で子供たちと地域の方の交流がある。
- ・ 米作り等に、老人会を中心に地域の方々が多く参加している。
- ・ 芋畑や梅林の提供など地域の方の御厚意をもらいながら教育活動を行っている。PTA 奉仕作業等で、卒業された元保護者にも重機等協力をお願いしている。立哨指導や運動会等地域の方にも呼びかけて参加してもらっている。
- ・ コロナを経験して、新たな形で行事や活動を工夫して再開している。
- ・ 「夢講話」と題して、地域の方を招いて話をさせていただく機会を学期一回設定している。学校応援団として、学校の教育活動に地域の方の 4 校 PTA 合同でドッジビー大会を開催した。
- ・ 「かじきっ子見守り委員会」を発足した。学校代表・保護者代表・地域代表をそれぞれ 7, 8 名ずつ選出し、9 月に第 1 回を実施した。
- ・ 学校・保護者・地域の代表者がそれぞれのグループに入るように 5 グループに分け、架空のいじめ事案を基にワークショップ型で話し合いを行った。また、そこで出された意見を学校便りやブログで周知した。
- ・ 学校運営協議会、地域学校協働活動

【地域の取組】

- ・ 地域協働活動による「昔遊び体験」・「昔のくらし体験」など
- ・ コミュニティ主催による子ども食堂, 未来塾
- ・ 毎日の集団登下校と朝の見守り活動
- ・ みふねっ子見守り隊活動を行っている
- ・ 校区のスポーツフェスタ開催
- ・ 地域が中心となりビーチクリーンを実施
- ・ 地域の有志で構成される「上小原ふるさとの会」の皆様が、通学路清掃活動や体験活動、校区スポーツフェスタ等を開催して、学校や地域と連携して校区の子どもたちを盛り上げている。
- ・ 市が行っている「ウォーキングで見せるパトロール」で横綱賞をとった。
- ・ 年に2回保護者が登下校時間帯に通学路の見回りをしている
- ・ 豊年祭への参加(相撲等)
- ・ 地域の方による登下校指導
- ・ 保護者や地域の方々による毎朝、毎夕の見守り登下校
- ・ 保護者による学期はじめ、地域の方による月はじめのあいさつ運動
- ・ 早寝早起き朝ごはんや睡眠時間確保のための画面を見る機器の21時オフについて各区で地域放送を行っている。
- ・ 5~6年生を対象に、3泊4日校区公民館を利用して宿泊をする「ふるさと学寮」を行っている。
- ・ 「3のつく日のあいさつ運動」として、毎月3のつく日に、校区のコミュニティの方々や民生、保護者が参加して立証指導を行っている。子どもたちの登校の様子を見守ったり、日頃の様子の情報交換をしたりすることができた。
- ・ 毎月第3日曜日は、朝、思いやりクリーン作戦に取り組んでいる。
- ・ 毎月13日のいきいきさわやかあいさつ運動
- ・ 相撲大会
- ・ 語ろう会が毎月ある
- ・ 学校見守り隊。下校の時間にあわせて、外仕事をしつつ子供たちの安全を見守る活動を地域が行っている。
- ・ そうめん流し大会、グランピング、鬼火焚き、イルミネーション、夏祭りなどの企画をおやじの会や子供会、分館で協力して行なっている。
- ・ 朝の立哨指導(各地域公民館長)
- ・ ふるさと先生による挨拶運動、生産体験学習、伝統芸能継承活動
- ・ 校区の団体(学校協働会議、安全協議会)との連携
- ・ 毎日の登下校時に青パト隊による見守り活動
- ・ コミュニティ協議会が主体となって子ども達のための体験活動を企画している。
- ・ 地区の青少年育成部による放課後見守り活動(年5回)
- ・ 毎月1日は、校区コミュニティが中心となったあいさつ運動を実施し、子供たちの登校を見守っていただいている。また、毎月第3日曜日には、校区体験活動を実施し、様々な体験の場をつくっていただき充実した活動を行っている。
- ・ 有志ボランティアグループ「親慈の会」で市の夏まつりに参加をしたり、運動会の緑門作りをしたりした。
- ・ 地区PTAレクレーション、茶話会・地区PTA通学バスバス停清掃
- ・ 宮校区みんな一緒にあいさつ運動を毎月1日に実施している
- ・ 相撲大会や駅伝大会の練習の企画・指導を校区体育部が中心となってい、PTA会員以外の地域の方々が積極的に子供と関わっている。親児(おやじ)の会で門松作りやバルーンゲート作りに取り組んでいる。
- ・ 「毎月1日は、郡地区(校区)子ども見守りの日」と設定し、校区全体で見守り活動に取り組んでいる。校区子連、公民館運営審議会等 関係団体と連携を図り、校区の合言葉「ふるさとと共に歩む頼娃の子」の実践に努めている。
- ・ 夏祭りの補導、県民週間の学校参観、愛校作業への地域企業のボランティア参加
- ・ 朝のあいさつ運動(PTA, コミュニティ協議会) 青パトによる見守り
- ・ 校区青少年健全育成連絡会を発足した。
- ・ 地域主催のスポーツ大会を実施している。
- ・ 地域行事への子どもたちの参加, 学校行事への地域の方々の参加
- ・ 地域の行事に親子で参加する。町内会の子供たちに進んで声をかけ、名前を覚える。
- ・ 地域見守り隊による登下校付き添い
- ・ 登下校の安全確認(見守り)を保護者や地域の方が行ってくれている。
- ・ 子供会と連携した球技大会、駅伝大会の実施
- ・ 地域と合同の運動会開催
- ・ 地域住民参加による愛校作業の実施、学校行事実施時の、地域住民によるサポート・安全確保への協力

- ・ 竹燈籠つくりと竹あかりイベント
- ・ コミュニティ・スクール運営で夏休みに公民館を活用して勉強会を行った。
- ・ 校区運動会、校区文化祭、鬼火焚き等
- ・ 伊佐市青少年健全育成大会において、本校の学校での活動内容を発表した。（主に地域との関りを中心に）
- ・ 各協議会、子供会の積極的な主催イベント
- ・ 忙しい保護者に代わって子供を預かる等
- ・ 青少年育成大会等
- ・ 青パト隊を結成しパトロールを行ったり、青少年育成協議会で各方面からのご意見をうかがったりしている。
- ・ 青少年育成連絡協議会を開き、小中高、校区、警察それぞれの視点で関わりや子どもたちを取り巻く環境について話し合っている。
- ・ キッズ園の花植え（地域の花壇の花植え）

IV 「会員相互のコミュニケーションを深めよう！」について参考となる事例

【PTAの取組】

- ・ 地域祭りへの踊り参加（子・親・教職員で3回練習したが、本番は台風接近で中止）
- ・ 学年毎の保護者も交えたレクリエーションの実施
- ・ PTA親子レクリエーション等の実施（磯遊び、グラウンドゴルフ、もちつき大会、懇親会）
- ・ スポーツ大会（グラウンドゴルフ）を行い、その後、懇親会も行った。令和6年度の創立150周年記念事業に向けて、実行委員会を立ち上げて保護者・地域の方と共に協議を進め、その度に懇親会を開催して親睦を深めている。
- ・ PTAスポーツ大会・忘年会の実施（12月）
- ・ 一人一役で活動ができるようにしているが、会員数が少なく、行事の運営等が難しい際は、校区コミュニティの協力をもらうなど、人数の少なさを補えるような仕組みをつくっている。
- ・ 活動の効率化と出席率の向上をねらいとし、学級PTA実施日と抱き合わせてPTA専門部会を実施した。
- ・ 各専門部ごとの定例会
- ・ 家庭教育学級主催の保護者交流会、情報交換会を実施予定
- ・ 親子学級レクリエーションの実施、親子でぎんなん加工
- ・ 学級PTA親子レクリエーションを今年度再開した
- ・ 本校PTAのキャッチフレーズの、「来て、見て、参加して、絆を深めるPTA活動」をPTA総会で周知している。
- ・ すべての活動を全員で取り組むようにしているので、事前に役割分担をして取り組んでいる。
- ・ 運動会において、PTA会員全家庭参加の種目を作ったり、PTA広報紙の中で全家庭が推薦する本の紹介で話題が広がるように工夫したりしている。
- ・ PTAバレー
- ・ 学校林によるワンデイキャンプの実施
- ・ 家庭教育学級で本校の課題についてグループ討議を行なっている
- ・ 村PTA研究大会を開催し全小中学校のPTA会員が参っている
- ・ 年2回程度のPTA親子レ開催開催PTAバザーの実施 各学年でのレクリエーション実施
- ・ 会員全員がグループラインでつながり、連絡・相談がスムーズにできる。
- ・ 職員歓迎会で全保護者に呼びかけ、キャンプ場でBBQ大会を開き、親睦を図った。
- ・ 手話勉強会（月1、2回実施）
- ・ 周年行事の一環として、学校とPTAが協力し、青少年研修センターと南薩少年自然の家の職員を招いて、親子で楽しめる体験活動を行った。その際、PTAも空き缶ポップコーンやスライム作り等の体験活動を行った。
- ・ 今年度はじめて、PTAバザーを地域のお祭りの中で出店した。
- ・ コロナ前は学校で開催していたが、地域のお祭りのブースの1つとして出店する事で、会員の事前準備などの負担が軽減でき、地域の方とも会話ができた。
- ・ PTA総務部が中心となり、各行事への参加要請や懇親会の企画が増えている。
- ・ 授業参観時、PTA会員全体で集まって、コミュニケーションを取ったり、情報共有をしたりする場を設定している。
- ・ 親子ふれあいレクや餅つき大会、門松づくり等親子で参加できる行事を実施し、親子だけではなく、会員同士の親睦も深めている。
- ・ 安心メール等による行事等の連絡、確認
- ・ PTA夏祭りの実施

- ・ 各学年の保護者を主体とした学年レクリエーションを行っている
- ・ 薩摩川内はんやまつり踊り連への参加
- ・ おやじの会で市P連レクリエーションに参加したり、反省会をしたりした。
- ・ 各学年で学級レクリエーションを実施した。
- ・ コロナ禍でできなかった「学級レクリエーション」について検討
- ・ 家庭教育学級や学級PTAにおいて親子レクリエーションを取り入れた。家庭教育学級ではニュースポーツを初めて計画した。
- ・ ランチ会などを実施してコミュニケーションを深められる機会を作る
- ・ 小学校と中学校が合同で懇親会や歓送迎会を行っている。
- ・ 保護者が中心となり各学級で親子レクリエーションを年1回開催。
- ・ PTA 懇親会として、親子で参加できるドッジボール大会、親子読書会の実施
- ・ 地域と合同の歓送迎会、忘年会の開催
- ・ 地域夏祭りへのPTAとしての出店、出演・学級PTA待ち時間に、交流の場としての図書室の開放
- ・ 学級・学年レクリエーション、PTA バザー等の開催、愛校作業(年2回)、正月門松作り
- ・ おやじの会による校内の環境整備活動に取り組み、保護者間の交流を図っている。
- ・ PTA 三役と管理職の定期的な懇親会(中学校も含めて)
- ・ PTA 親子球技大会、おやじの会 門松作り
- ・ 6月、串良町校区の小・中・串良商業高校7校のPTA役員、学校職員による懇親会を4年ぶりに行い、会員相互の親睦を図ることができた。
- ・ PTA 行事や学校行事等の連絡や簡単な打ち合わせをライングループで行い、相互で連携・調整できるようにしている。
- ・ 定期的にPTA三役会やPTA委員会を実施し、PTA活動を確認している。
- ・ 学級PTAのときに「子どもの自己肯定感を高める」などのテーマを決め、グループトークとして話し合いの場を設定している。
- ・ 学級レクリエーション活動、こどもフェスティバル
- ・ PTA バザー、奉仕作業、資源リサイクル等。
- ・ ミニバレー大会や職員歓送迎会が開催されたことにより今までより、先生方とのコミュニケーションが出来るように思う。
- ・ ワークショップ、講演会などを行った
- ・ 学校保健委員会において、児童に関する共通のテーマについて、グループ協議を行った。
- ・ 全校レクリエーションの設定
- ・ ソフトバレーの練習土曜日に行い体を動かしながら、コミュニケーションを深めている
- ・ コロナ禍で途絶えていた行事の引き継ぎの立て直しをすべくマニュアルやタスクの作成をおこなっている(業務の見直し、先生と保護者が協力して運営できるよう仕事の棲み分けなど)
- ・ 学校生活に関しての困り事・相談事の「見える化」を図り、問い合わせ先一覧表の作成を計画中(町PTA全体で今年度完成を目指し、現在実践中)
- ・ 校区内の小学校とバレーボール大会で交流
- ・ 3校PTAを開催した。

【学校の取組】

- ・ 運動会と追い込み漁の後の懇親会に保護者も参加していただいた。
- ・ 体育大会でPTA種目実施している
- ・ 前回答と同様で、先生方の個人的な態度を出してきたり、個人的な意見などを強く持つ先生方が大半なのが、とても残念
- ・ 冬季の正門付近イルミネーション設置
- ・ 全校児童17名で、殆どの児童がスポーツ少年団に入団し、親子で交流を深めている。伝統芸能「イシシハカマ」の踊りや三味線発表に積極的に参加している。

V 「生涯学習の実践に努めよう！」について参考となる事例

【PTAの取組】

- ・ 家庭教育学級の開催時期や内容などを前年度の反省を生かして変更することができた。
- ・ 校区の夏祭りや文化祭に舞台発表に多数参加する
- ・ 市P連の集いに参加している
- ・ PTA研究大会で講師を招聘して教育や子育てに関する講演を開いている
- ・ 家庭教育学級研修視察の再開

- ・ 町主催の PTA 研修会等にできるだけ全 PTA(各家庭一人)が参加するよう、出席者を年度当初に割り当てた。
- ・ PTA 保体部による「健康に関する学習会(ヨガ教室)」の実施(保体部以外の保護者へは動画配信)
- ・ 学校行事の学習発表会に、家庭教育学級生の製作作品も展示している。伝統的な行事を大切に、親子で進んで参加することを通して体験しながら学ぶように呼び掛けている。
- ・ 外部講師を招聘し、AED やスマホの正しい利用法についての研修会を計画・実施している。
- ・ 情報モラル教室(健康被害とメディアの関係)の実施
- ・ 生涯学習フェスティバルで、小学生・中学生・地域の大人が集まり、伝統芸能「イシシハカマ」の発表を行った。
- ・ 児童の健全育成のためのボランティア活動(PTA 愛校作業, PTA 空き瓶回収など)
- ・ 年度当初で会合等への出席割当を行い、必ず一家庭一回は研修等に参加してもらっている。
- ・ 地域コミュニティ主催の「六月燈」「門松・しめ縄作り」等、伝統行事への積極的な参加
- ・ 毎年、11 月の第 2 土曜日に、学校と校区コミュニティとの合同開催で教育講演会を実施している。(参加者:保護者と校区民)
- ・ 保護者向けの教育講演会の開催
- ・ P T A 会員全員で、研修会への出会を分担している。

【学校の取組】

- ・ いじめ防止の講話開催(市教委による)
- ・ お茶とのふれあい事業、伊集院饅頭作り
- ・ 遠泳大会を控えていたので、救命救急講習を実施し、海での事故に備えて研修ができた。
- ・ 11 月にメディアに関する講演会を児童、保護者で聞く取り組みを計画している。
- ・ 社会教育学級への積極的な参加を呼びかけている。
- ・ いろいろな研修会等の案内を広く周知するようにしている。
- ・ 芸術鑑賞教室等の参加について、保護者への呼びかけを行うようにしている。
- ・ 昨年度から埼玉から講師をお呼びして歯の事に関する講話をしていただいております。
- ・ 今年度は全保護者に呼びかけて多くの参加をいただきました。